

笑 顔

2020年9月4日
幸手市立東中学校
保 健 室

1年生は9月2日に東地域包括支援センターの中村様、幸手市介護福祉課の瀬川様を迎えし、認知症サポーター養成講座を行いました。認知症の方と介護する家族を理解するために、しっかり理解してほしいこととお話していただきました。

【今日の講演会でわかったこと、感想】

- ・認知症の方を介護する家族の方はとても大変なので、協力できるようにしたいです。
- ・認知症という病気は、脳が小さくなって記憶が悪くなったり、道を間違えたりするので、怖いと思いました。認知症の人が困っていたら、助けたいと思いました。
- ・認知症の人がいたら、怒らないで優しく寄り添うことの大切さがよくわかりました。
- ・認知症は、お年寄りになるものと思っていたけど、若い人でも認知症になってしまうことがわかりました。
- ・7つのポイントをよく覚えて対応ができるように覚えたいです。困っている高齢者の人を見かけたら、目線を合わせたり、口調を優しくしたり対応したいです。警察の方や大人の人に報告してもいいと教えていただきました。自分にもできそうでよかったです。
- ・今までは、認知症なんて「物忘れをする人」だと思っていたけど、物を忘れてしまうことは結構大変なことがわかりました。認知症になった人のつらい気持ちがよくわかりました。優しく接していきたいと思います。
- ・認知症の人は、何でも忘れてしまうかと思っていたけどうれしいことや悲しいことをちゃんと覚えていることがわかりました。
- ・私の祖父母にも認知症になる可能性があることを知り、不安な気持ちにならないように、否定するのではなく、肯定をしてあげようと思いました。
- ・今までは、認知症の方とは、距離をとりたいと思っていました。今回の講座を受けて、積極的に助けてあげたいと思いました。
- ・ぼくは、認知症という言葉だけで、今まで内容についてよくわかりませんでした。同居する祖父母がいるので、認知症にならないように、毎日会話をするなど意識して生活していきたいです。
- ・脳の血流をよくするためには、塩分のとりすぎはよくないことやお酒もよくないことがわかりました。自分も毎日の食生活を見直したいと思います。
- ・認知症の人は、周りの人から否定されて自信をなくすことで病気を進行させてしまうこともあることがわかりました。自信をなくさないように否定をしないで優しく笑顔で安心してもらえるように声をかけたりしようと思いました。

〈 7つの対応のポイント 〉

- ① まずは見守る
- ② 相手に目線を合わせて優しい口調で
- ③ 余裕を持って対応する
- ④ 穏やかに、はっきりした滑舌で
- ⑤ 声をかけるときは一人で対応する
- ⑥ 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する
- ⑦ 後ろから声をかけない(前から)



対応の心得 3つの「ない」

- ① 驚かせない
- ② 急がせない
- ③ 自尊心を傷つけない

